

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 3 年 10 月 21 日 (2021.10.21)

【公表番号】特表 2020-528082 (P2020-528082A)  
 【公表日】令和 2 年 9 月 17 日 (2020.9.17)  
 【年通号数】公開・登録公報 2020-038  
 【出願番号】特願 2020-524719 (P2020-524719)  
 【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 47/42 (2017.01)  
 A 6 1 P 27/02 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)  
 C 0 7 K 7/08 (2006.01)  
 C 0 7 K 7/06 (2006.01)  
 C 0 7 K 14/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00  
 A 6 1 K 47/42  
 A 6 1 P 27/02  
 A 6 1 P 43/00 1 2 1  
 C 0 7 K 7/08  
 C 0 7 K 7/06 Z N A  
 C 0 7 K 14/00

【手続補正書】  
 【提出日】令和 3 年 7 月 16 日 (2021.7.16)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

治療薬と細胞透過性ペプチド (C P P) を含む経上皮、経膜又は経粘膜薬物送達システム (T D S) であって、

前記治療薬は小分子であり；

前記治療薬が前記 C P P と混合されたものであり；

前記 T D S は、治療薬含有 C P P 修飾ナノ粒子、ミセル又はリボソームではなく；及び

前記 T D S が前記治療薬を眼中へ送達することができる、薬物送達システム (T D S)

。

【請求項 2】  
 前記眼の後眼部領域中に前記治療薬を送達することができる、請求項 1 に記載の T D S

。

【請求項 3】  
 点眼薬又はコンタクトレンズによって投与したときに、前記治療薬を前記眼中へ送達することができる、請求項 1 又は 2 に記載の T D S。

【請求項 4】  
 前記治療薬が、内皮の健全性又は / 及び眼の血管系の血流を保持又は改善する治療薬、抗脂質異常症薬、抗酸化剤、抗炎症剤、補体阻害剤、神経保護剤、抗血管新生薬、又はそ

これらの任意の組み合わせである、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の T D S。

【請求項 5】

前記治療薬が、スタチンである、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の T D S。

【請求項 6】

前記 C P P が、ポリカチオン性 C P P、アルギニンに富む C P P 又は両親媒性 C P P である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の T D S。

【請求項 7】

前記 C P P が、ポリアルギニン又は T A T 関連 C P P である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の T D S。

【請求項 8】

治療薬、細胞透過性ペプチド ( C P P ) 及び一以上の医薬的に許容可能な担体又は賦形剤を含む医薬組成物であって、

前記治療薬は小分子であり；

前記治療薬が前記 C P P と混合されたものであり；

前記医薬組成物は、治療薬含有 C P P 修飾ナノ粒子、ミセル又はリポソームを含まず；  
及び

前記医薬組成物が眼への局所投与用に処方される、医薬組成物。

【請求項 9】

前記治療薬が、内皮の健全性又は / 及び眼の血管系の血流を保持又は改善する治療薬、抗脂質異常症薬、抗酸化剤、抗炎症剤、補体阻害剤、神経保護剤、抗血管新生薬、又はそれらの任意の組み合わせである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記治療薬が、スタチンである、請求項 8 又は 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記 C P P が、ポリカチオン性 C P P、アルギニンに富む C P P 又は両親媒性 C P P である、請求項 8 ~ 10 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記 C P P が、ポリアルギニン又は T A T 関連 C P P である、請求項 8 ~ 11 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

点眼薬又はコンタクトレンズによって投与するために製剤化される、請求項 8 ~ 12 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

眼疾患を治療するのに使用するための、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の経上皮、経膜若しくは経粘膜薬物送達システム ( T D S ) 又は請求項 8 ~ 13 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

前記眼疾患が、萎縮型又は新生血管型加齢黄斑変性である、請求項 14 に記載の使用のための T D S 又は医薬組成物。